

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

犬猫用 ピペゲン錠

錠剤の虫下し

〔ピペゲン錠の特徴〕

ピペゲン錠は、犬及び猫の回虫(かいちゅう)、鉤虫(こうちゅう)の駆除に効果があります。

回虫や鉤虫は、虫の卵を口から飲み込んだり、母犬の胎盤や母乳、母猫の母乳から感染します。また、鉤虫は皮ふから幼虫が侵入し感染することもあります。



〔使用上の注意〕

一般的注意

1. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用してください。
2. 本剤は劇薬に該当する成分が含まれているので、定められた用法・用量を厳守してください。

使用者に対する注意

誤って本剤を大量に飲み込んだ場合は、悪心・嘔吐・下痢・めまい・けいれん等の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は直ちに医師の診察を受けてください。

犬及び猫に対する注意

1. 制限事項
てんかん等のけいれん性疾患や心臓・肝臓・腎臓の疾患がある場合、下痢など体調が優れない場合、特異体質、妊娠中、生後3ヶ月齢未満の場合には、本剤の使用を見合わせ、獣医師に相談してください。
2. 副作用
本剤の使用により下痢・嘔吐などを起こすことがあります。
激しい症状があらわれた場合は、使用を中止し、獣医師に相談してください。
3. 相互作用
本剤の投与により、フェノチアジン系トランキライザーの副作用が増強されることがあります。
4. 適用上の注意
(1) 連日の投与は行わず、再度駆虫を必要とする場合は10日以上の間隔をとってください。
(2) 使用しても症状の改善がみられない場合や異常がある場合は、獣医師に相談してください。
(3) 他の駆虫薬とは同時に使用しないでください。

取扱い上の注意

- (1) 誤用の原因になったり品質が変わるのを防ぐため、他の容器に入れ替えないでください。
- (2) 内容に異常を認めたものは使用しないでください。
- (3) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
- (4) 使用済みの容器は地方公共団体条例などに従って処分してください。

保管上の注意

- (1) 小児の手の届かないところに保管してください。
- (2) 直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しいところに保管してください。

〔効能・効果〕

犬、猫の回虫、鉤虫(十二指腸虫を含む)の駆除

〔用法・用量〕

体重2.5kg当たり下記の量を1回量として、1日1～2回経口投与する。

犬、猫:クエン酸ピペラジン 77.5～188mg、サントニン 2.5～10mg
(本剤1/2錠 クエン酸ピペラジン 150mg、サントニン 10mg)

〔成分・分量〕

本剤1錠(0.5g)中に次の成分を含有します。

成分	含有量	働き
クエン酸ピペラジン	0.30g	駆虫効果があり、寄生虫の筋肉を麻痺させます。
サントニン	0.02g	駆虫効果があり、寄生虫の神経系に作用して運動性を消失させます。

添加物として、乳糖水和物、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

<ワンポイント アドバイス>

【与え方】

体重に応じて1回に与える量を決めて、1日1～2回与えます。体重2.5kgにつき1/2錠が1回に与える量の目安です。

犬、猫の体重	1回に与える量	1日2回まで増やせます
2.5kg	1/2錠	1/2錠を2回
+2.5kgごと	+1/2錠ずつ	1回につき+1/2錠ずつ
例: 10.0kg	2錠	2錠を2回

※2日以上続けて使用しないでください。再度、駆虫を必要とする場合は、10日以上の間隔をあけてください。

【症状】

一般的に症状は、6ヶ月齢以下の子犬・子猫に多くみられ、発育不良、被毛粗剛、腹部膨満、元気消失、下痢、嘔吐などがみられます。鉤虫に感染した場合は、これらの症状の他に貧血を伴う場合があります。

【感染の防止】

回虫や鉤虫に感染している犬・猫のふん便中には、肉眼では見えない虫の卵がたくさん含まれています。そのまま放置するとやがて感染能力をもった成熟卵(幼虫を含む)になり、人や犬・猫に感染する可能性が高まります。更なる感染を防ぐためにも排泄されたふん便はすみやかに処理しましょう。

ペットのふん便は健康状態を知るバロメーターです。日頃からチェックする習慣をつけ、寄生虫の排泄があった場合は、早めの駆虫を心がけましょう。

製造販売元 **現代製薬株式会社**

〒190-1222 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原8-4
お客様相談窓口 ☎ 042-556-2528(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)